

# さんさん、きらきら 第30号

光り、輝く、チーム南陽小 ～考えよう、語り合おう～

令和5年3月22日  
長崎市立南陽小学校  
学校だより  
校長 寺田 成広

## 第43回卒業証書授与式挙行

3月16日(木)、第43回卒業証書授与式を執り行いました。学年練習や予行練習で式の流れ、所作を身に付けていた卒業生は、凛々しく落ち着いていて、さすがと思わせる態度でした。

入学以来6年間の成長と、最高学年として過ごした1年間の集大成として、素晴らしい式になりました。

以下は、式辞の抜粋です。卒業生の活躍を知っていただきたいので、掲載します。

……みなさんが過ごした小学校六年間のうち半分以上は、新型コロナウイルス感染症と向き合った日々でした。しかし、最高学年として過ごしたこの一年の皆さんは、コロナ禍での制約や計画変更をもちもせず南陽小学校のリーダーとして様々な場面でその良き力を発揮してくれました。

運動会では、限られた日々と時間の中でできうることを考えて、適切な指示と優しい言葉かけによって会を成功に導いてくれました。修学旅行では、雄大な阿蘇の自然の中で、友達と思いきり旅の楽しみを味わい、地域の人々と触れ合うことで、小学校最高の思い出ができた二日間になったことでしょう。また、旅行中の皆さんの行動は、時間を守る、お世話になった方々への感謝を示す、班内で協力し合う等が申し分なくできていて、素晴らしいものでした。

他にも、代表委員会や委員会活動での安定した仕事ぶり、朝の挨拶運動の自主的な取組、Chromebook 操作スキルの目を見張るほどの向上、始業式や終業式での代表の言葉や外部の方をお招きした際のお礼の言葉等で見せた表現力の高さなどは、南陽小学校の目標「光り輝くチーム南陽小～千六百万度ある内部からの輝き」を達成するための、よきリーダーのモデルとして下学年に引き継がれていくことでしょう。……

この後、「シンクグローバルリー、アクトローカリー」という言葉を送りました。予行練習で事前にこの言葉を送ることを伝え、調べておいてほしいとお願いしていました。未来の社会をよりよく生き抜くために指針にしてほしく、英文ですがあえて伝えました。



在校生代表の5年杉●る●●さん、松●み●●さんの送る言葉には、卒業生の優しさや賢さによっていかに私たちが助けられたかが綴られていました。併せて、憧れた姿に自分たちが近づくように努力するとも述べていました。思いのこもった素敵な言葉でした。

朝方降っていた雨が式中に上がり、見送りは外で行うことができました。最後の学級活動で級友や担任と締めくくりのメッセージ交換をした卒業生は、清々しい表情で見送りの列を歩いて学校を後にしました。これからの中学校生活の充実と、いっそうの成長を願わずにはおれません。

学校 HP には、前日準備までの様子と当日の様子を掲載しています。ぜひご覧ください。

前日の様子(含むお祝い掲示物) ⇒ [卒業証書授与式の準備が整いました | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)

当日の様子 ⇒ [第43回卒業証書授与式 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)

学校 HP には、授業参観の様子や、6年生を送る会を掲載中 ⇒ [トップページ | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)